

矢巾町を中心に7施設が、日々利用者の皆様と共に活動しております。



障害者支援施設 新生園
入所支援(定員40名)
生活介護(定員25名)
就労継続支援B型(定員15名)
短期入所(空床型)



障害者支援施設 第二新生園
入所支援(定員40名)
生活介護(定員70名)
就労継続支援B型(定員15名)
短期入所(併設型:定員2名)



医療型障害児入所施設 みちのく療育園
障害児入所・療養介護(定員50名)
生活介護・児童発達支援(定員5名)
短期入所(定員2名)

しんせい
第12号

発行元 社会福祉法人 新生会
〒〇二八―三六二五
岩手県紫波郡矢巾町室岡
一三一―二二五
TEL(〇一九)六二―〇二四二
FAX(〇一九)六二―〇二五二
HP:<http://www.i-shinseikai.jp/>



多機能型施設 ワークセンターむろおか
就労移行支援(定員6名)
就労継続支援B型(定員28名)
生活介護(定員6名)



就労継続支援B型事業所 あさあけの園
就労継続支援B型(定員20名)



共同生活介護等事業所 新生ホーム(定員29名)
土橋ホーム
アンダンテ新田
室岡ホーム
見前ホーム



特定・障害児・一般相談支援事業所
障害者地域生活支援センターしんせい

常務理事挨拶

社会福祉法人 新生会

常務理事

高橋 千鶴子



ごあいさつ

私は、本年四月一日より新生会の初代の常勤役員として就任し、はや三か月が過ぎようとしております。

新生会は設立三十周年を迎え、役員は真夏のフェスティバルのように熱く燃え、その中で仕事ができるということに喜びを感じながら毎日を過ごしております。一方ではこのポストがどうあれば良いのか戸惑う日々でもあります。

法人の理念「輝く命」に向かい一昨年策定した新生会の第3期経営計画はおかげさまですでに達成度約八十%と良好な状況であります。

しかし、計画の中に盛り込まれていない重要案件も沢山あることも痛感いたしており、今後どのように対処すべきか迷う時が多々あります。その時は創設者であられる藤原清司氏の思いである福祉の原点、新生会の理念でもある「輝く命」を念頭に置きます。それでも落ち込むときもあります。そんな時に救ってくれるのは利用者様の百万ドルの笑顔です。

近年全国的に利用者の高齢化、家族の高齢化が問題となっておりますが新生会においても同様避けて通れない問題です。

身体は年齢と共に老化していきませんが心は環境次第で若返ります。法人としてはソフト面で少しでも若さを保てるよう支援していかねければならないと考えております。勿論ハードの問題も置き去りにはできない状況です。新生会第一番目の施設「新生園」も同様に三十周年を迎えました。施設は老朽化しており、何よりも環境が旧態依然で利用者様にはご不便をか

けております。また、第二新生園も同様です。あさあけの園に至っては築四十五年を経過しており耐震に対する安全面の配慮が不可欠であります。

それら法人の全体の問題解消のため敷地は確保はなされておりますが、皆様の目に見えるところまでの計画には至らず関係者は歯がゆい思いをしていることと思えます。計画に当たってはご家族様やご利用者様のご意見を集約しながら地域の核となる総合的な福祉活動の場所となるよう具体的な検討をし、本年度中には実施計画を提示できるようにしてまいりたいと考えております。

私は平成十三年に新生園に勤務し、法人本部を経てワークセンターむろおかを最後に平成二十二年三月に退職いたしました。福祉業界の激変により、その間のプランクは大きく、全く浦島太郎の世界です。任期中どのように計画実現できるか不安ではありますが、人権尊重・四者一体となった運営

・倫理の確立の基本方針にのっとり経営をしてまいります。
最後にご家族、関係機関、地域の方々のご支援を今まで以上に厚く賜りますようお願い申し上げます。してごあいさつと代えさせていただきます。

《ワークセンターむろおかの活動》

プランターで育てた花を、矢巾町の園児と一緒に飾りました。



手際よく袋詰めしております。

任期満了に伴う当法人の新理事、
監事、相談役、評議員、苦情解決
第三者委員について紹介いたしま
す。

理事

理事長 村松正夫 矢巾町

職務代理者 細川光夫 矢巾町

常務理事 高橋千鶴子 矢巾町

理事 高橋義忠 矢巾町

理事 鈴木一夫 矢巾町

理事 千葉清夫 盛岡市

理事 北邦男 矢巾町

理事 佐々木裕 花巻市

(ワークセンターむろおか施設長兼)

監事

監事 佐々木巧 矢巾町

監事 阿部肇男 紫波町

相談役

相談役 藤原清司 矢巾町

評議員

評議員 細川光夫 (理事兼任)

評議員 高橋義忠 (理事兼任)

評議員 鈴木一夫 (理事兼任)

評議員 千葉清夫 (理事兼任)

評議員 沼田徳彦 矢巾町

評議員 白澤修子 矢巾町

評議員 野澤昭 矢巾町

評議員 伊藤盛 花巻市

評議員 坂本安法 紫波町

評議員 鎌田恵一 花巻市

評議員 阿部武夫 矢巾町

評議員 菊池司 花巻市

評議員 高橋義一郎 矢巾町

評議員 佐藤敏昭 盛岡市

評議員 平野功 花巻市

評議員 川村みや子 盛岡市

(みちのく療育園副施設長兼)

苦情解決第三者委員

委員 谷村清次郎 矢巾町

委員 吉岡幸子 矢巾町

委員 沼田福子 矢巾町



施設所在地

法人本部事務局

紫波郡矢巾町室岡第十二地割二二五番地

障害者支援施設 新生園

紫波郡矢巾町室岡第十二地割二二五番地

障害者支援施設 第二新生園

紫波郡矢巾町太田第十七地割五十四番地

医療型障害児入所施設 みちのく療育園

紫波郡矢巾町煙山第二十四地割一番地

多機能型施設 ワークセンターむろおか

紫波郡矢巾町室岡第十二地割二二四番地

就労継続支援B型事業所 あさあけの園

紫波郡矢巾町又兵衛新田第六地割一七番地二

共同生活介護等事業所 新生ホーム

紫波郡矢巾町室岡第十二地割七十番地九

特定・一般相談支援事業所

障害者地域生活支援センターしんせい

紫波郡矢巾町室岡第十二地割七十番地九

エコレストランあいのの

紫波郡矢巾町間野々第十二地割五十番地

事業報告

平成二十四年度
社会福祉法人 新生会

平成二十四年度は、法人の理念「輝く命」と基本方針のもとに、利用者とその家族、職員、役員、四者が一体となって、利用者一人一人の尊厳を重んじ、その尊厳にふさわしい生活の保障を基本に据えた経営に努めました。

また、障害者自立支援法及び児童福祉法に基づく各種障がい福祉サービス事業を通じて、施設利用者並びに在宅利用者の生活支援、就労支援、相談支援を推進しました。

一 個人の尊厳が守られるサービスの提供と質の向上

法人の理念、基本方針及び第Ⅲ期経営計画を職員、利用者及び家族等への周知を図るとともに、法令遵守規程を策定し、法人が行うすべての事業において業務が適正に行われるよう組織体制を整備しました。

利用者の人権の尊重については、全職員が虐待防止セルフチェ

ックにより定期的に自らの行動を振り返り、利用者への虐待防止に努めました。施設サービスの質の向上を図るため、福祉サービス第

三者評価機関の受審に向けて事前研修を実施したほか、評価基準に基づく自己評価を全施設・事業所で実施し、施設サービスの点検と課題の確認を行いました。

また、施設サービスに関する利用者、家族からの意見、要望等に対しては、施設毎にサービスの改善に努めるとともに、新生園・ワークセンターむろおかの車いす利用者等の災害時の安全を確保するため、避難通路の簡易舗装等を行いました。

二 地域の機関、団体、個人と連携・協働し、地域の生活・福祉課題の解決

地域自立支援協議会、紫波郡障がい者ネットワーク（つき一会）等に参加するとともに、矢巾町、紫波町を始め行政や他の社会福祉法人、NPO法人等と連携し、地域の障がい者の支援を行うとともにニーズ把握に努めました。

また、施設設備・機能を地域社

会に積極的に開放し、地域住民やボランティア等との交流を深め、信頼の獲得に努めました。

三 総合的な人事管理と働きがいのある職場づくり

法人の規則及び制度等に関する課題の調査検討を行い、定款、処務規則、就業規則等の規則規程を見直すとともに、新たに法令遵守規程、虐待防止規程、職員安全衛生管理規程等を策定し、遵守すべきルールの明確化を図りました。

職員の資質の向上については、教育研修部会を設置し、体系的な教育研修計画策定に向けた検討を始めるとともに、新任職員を対象に法人研修を実施し、法人の理念と基本方針の理解や法人職員としての姿勢、利用者支援の基礎知識等の習得に努めました。

職員の安全と心身の健康を確保するため、職員安全衛生委員会を組織し、職員の健康保持に関する現状と課題を把握するとともに、臨床心理士による定期的な健康相談（カウンセリング）を実施したほか、役職員が一堂に会し交流を図るなど働きがいのある職場づくりに努めました。

四 公正かつ適正な事務事業の推進と執行体制の充実強化

事務事業の執行にあたっては、理事、監事及び評議員がその役割を認識し、法人経営のチェック機能を相互けん制機能の発揮に努めました。また、施設長等業務連絡会議を開催し、法人運営の課題の共通認識を図るとともに、事業計画の推進と問題・課題の解決に向けて取り組みました。

また、顧問会計士による内部統制監査を毎月実施し、効率的、効果的な予算執行と収支に関する点検確認を行うとともに、社会保険労務士による労働関係法令や雇用契約等に関する指導助言を得るなど適正な事務事業を推進しました。

第Ⅲ期経営計画（平成二十四年度から二十六年度までの三か年計画）の具現化を図るため、責任者及び担当者を選任して進捗管理を行いながら取り組み、経営の約八割を実施することができました。

なお、計画どおり実施できなかった課題もあることから、平成二十五年度においては必要な見直しを行いながら、取り組みを推進して参ります。

平成24年度決算状況について

平成25年5月24日社会福祉法人新生会理事会において承認されましたので報告いたします。

貸借対照表

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	706,559,884	流動負債	57,241,499
現金・預金	512,181,210	買掛金	4,470,363
売掛金	5,961,881	未払金	47,194,829
商品・製品	571,668	預り金	5,576,307
未収金	183,093,528		
貯蔵品	4,310,684		
立替金	153,493		
前払金	176,000		
その他流動資産	111,420		
固定資産	1,829,700,542	固定負債	148,858,745
基本財産	1,329,358,343	設備資金借入金	92,750,000
建物	871,062,533	退職給与引当金	56,108,745
土地	457,295,810		
基本財産特定預金	1,000,000		
その他の固定資産	500,342,199	負債の部合計	206,100,244
建物附属設備	195,500,516	純資産の部	
構築物	13,559,886	基本金	351,764,846
機械及び装置	15,512,340	国庫補助金等特別積立金	567,786,133
車輛運搬具	4,134,725	その他の積立金	168,681,000
器具及び備品	46,292,898	次期繰越活動収支差額	1,241,928,203
権利	1,043,089	(うち当期活動収支差額)	109,624,539
退職共済掛金	56,108,745		
その他固定資産	101,000	純資産の部合計	2,330,160,182
その他の積立預金	168,089,000		
資産の部合計	2,536,260,426	負債及び純資産の部合計	2,536,260,426

財産目録

平成25年3月31日現在

(単位：円)

資産・負債の内訳	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
①現金預金	512,181,210
②売掛金	5,961,881
③商品・製品	571,668
④未収金	183,093,528
⑤貯蔵品	4,310,684
⑥立替金	153,493
⑦前払金	176,000
⑧その他流動資産	111,420
流動資産合計	706,559,884
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
①土地	457,295,810
②建物	871,062,533
③基本財産特定預金	1,000,000
基本財産合計	1,329,358,343
(2) その他の固定資産	
①建物附属設備	195,500,516
②構築物	13,559,886
③機械及び装置	15,512,340
④車輛運搬具	4,134,725
⑤器具及び備品	46,292,898
⑥権利	1,043,089
⑦退職共済預け金	56,108,745
⑧その他の固定資産	101,000
⑨その他の積立預金	168,089,000
その他の固定資産合計	500,342,199
固定資産合計	1,829,700,542
資産合計	2,536,260,426
II 負債の部	
1. 流動負債	
①買掛金	4,470,363
②未払金	47,194,829
③預り金	5,576,307
流動負債合計	57,241,499
2. 固定負債	
①設備資金借入金	92,750,000
②退職給与引当金	56,108,745
固定負債合計	148,858,745
負債合計	206,100,244
差引正味財産	2,330,160,182

資金収支計算書

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

(単位:円)

	法人全体		
	予算	決算	対比
就労支援事業収入	85,753,000	80,756,833	4,996,167
就労支援事業支出	87,523,000	79,866,955	7,656,045
就労支援事業活動資金収支差額	△1,770,000	889,878	△2,659,878
福祉事業収入	1,289,912,000	1,295,728,056	△5,816,056
福祉事業支出	1,194,399,000	1,131,648,233	62,750,767
福祉事業活動資金収支差額	95,513,000	164,079,823	△68,566,823
施設整備等収入	20,000	30,000	△10,000
施設整備等支出	23,394,000	16,302,783	7,091,217
施設整備等資金収支差額	△23,374,000	△16,272,783	△7,101,217
財務収入	9,290,000	9,475,855	△185,855
財務支出	197,831,000	197,419,200	411,800
財務活動資金収支差額	△188,541,000	△187,943,345	△597,655
予備費	48,380,000		
当期資金収支差額合計		△39,246,427	

事業活動収支計算書

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

(単位:円)

	法人全体		
	平成24年度決算	平成23年度決算	対比
就労支援事業収入	80,756,833	78,387,649	2,369,184
就労支援事業支出	85,923,949	79,946,639	5,977,310
就労支援事業活動収支差額	△5,167,116	△1,558,990	△3,608,126
事業収入	1,218,131,947	1,189,807,052	28,324,895
事業支出	1,096,981,853	1,074,867,579	22,114,274
事業収支差額	121,150,094	114,939,473	6,210,621
事業外収入	110,468,674	199,853,439	△89,384,765
事業外支出	113,333,757	203,093,495	△89,759,738
事業外収支差額	△2,865,083	△3,240,056	374,973
特別収入	3,194,113	708,947,557	△705,753,444
特別支出	6,687,469	708,781,990	△702,094,521
特別収支差額	△3,493,356	165,567	△3,658,923
当期活動収支差額合計	109,624,539	110,305,994	△681,455

法人・新生園創立三十周年記念事業のご案内

法人・新生園は、今年度で三十周年を迎えることができました。

これも関係機関、地域の皆様にご支えられ、励まされてここまで来られたものと役員一同心より感謝いたしております。

そこで、三十周年を記念し、地域の皆様にも楽しんでいただける内容にて記念事業を開催することといたしました。

新生園・ワークセンターむろおかでは毎年地域フェスティバルを開催しておりますが、今回は記念事業と組み合わせ盛大なフェスティバルを開催する予定です。

また、記念式典・鎌田實先生による特別講演も予定しております。入場に制限はございませんのでぜひお誘い合わせのうえご来場下さい。



～記念式典・記念講演会～

日時 平成25年11月9日(土)
午前10時00分～午後3時まで
会場 田園ホール
講師 鎌田 實 先生(長野県在住)
*講演内容については後日お知らせいたします。
*入場無料



～地域交流フェスティバル～

日時 平成25年10月5日(土)
午前10時～午後2時まで
会場 新生園北側駐車場
(雨天の場合矢巾町農村環境改善センター)
ステージ発表
地区の方々や利用者の余興等
出店 屋台、裂き織製品、クッキー、
コーヒーなど

事業所紹介

障害者地域生活支援センターしんせい

障害者地域生活支援センターしんせいは、盛岡圏域八市町村(盛岡市・矢巾町・紫波町・雫石町・滝沢村・八幡平市・岩手町・葛巻町)から地域生活支援事業の中に位置づけられている相談支援事業(基本相談)を受託し、必要に応じた情報の提供や権利擁護等の公正な相談支援事業を実施しています。

平成二十四年度からは新たに指定特定相談支援事業者としてサービス等利用計画案の作成に伴う支援を実施、今年度からは指定一般相談支援事業者の登録を完了し幅広く地域に根ざした相談支援を展開して行きます。

しんせいに寄せられる相談は多岐に渡り、相談内容の複雑化に伴い支援に費やす時間と労力が膨大になっていくのが課題となっております。サービス利用に関する相談だけではなく、家族関係の複雑化や経済的格差、障がいと病氣、加齢等の問題が重複し希望するくらしの実現が困難なケースも多くあります。「人」と「暮らし」の支援を行う上で、相談者や家族の「生きる力」を支える仕事に携わる私達は、自分の仕事と役割に誇りを持つため専門性を高める努力を行い、職場内の「チーム」といった連帯感を育みながら働きやすい環境作りを心がけ、毎日地域を駆け回っています。

施設や広報についてのご意見・ご感想は

法人本部事務局までお寄せください。

発行 社会福祉法人 新生会

〒02181-3625 岩手県紫波郡矢巾町室岡21-125

TEL(019)611-0242

FAX(019)611-0252